

《事故情報》

大学構内でガスボンベ爆発事故

(一社) 大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和7年7月9日午前11時20分頃、埼玉大学の教員から、「実験中にボンベが爆発した」と消防に通報がありました。

この事故により、女性教員がけがをして病院に運ばれましたが命に別状はありませんでした。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

(1) 発生日時：令和7年7月9日（水） 午前11時20分頃

(2) 発生場所：埼玉大学構内

(3) 作業状況：女性教員が実験棟1階の屋外に設置されたガスボンベ（大きさや圧力は不明）を調整していたところ、突然、爆発した。

報道によるとボンベの中身は可燃性のアセチレンと酸素が混ざったガス。

(4) 物的被害：爆発があった向かいの建物では、1階の窓ガラスがほぼ全て割れていた

(5) 人的被害：女性教員が右腕や頭に軽傷。

学生3人が実習などをしていましたが、ほかにけが人はいなかった。

(5) 推定事故要因：

要因1：報道によると可燃性ガス/支燃性ガスの混合気体の漏洩。そして何らかの着火源が発生し引火した。

要因2：ガスボンベの保管方法不備

① ガスボンベに直射日光が当たっていた

② ガスボンベが長期にわたって保管され、腐食・減肉していた

高圧ガスボンベの取扱い、保管方法を間違えると大きな事故につながります。高圧ガスは危険物であることを認識し、現場作業員及び消費者に周知・徹底願います。

2. 報道記事（NHK 及び TBS ニュースを参考に添付します）

(1) インターネット情報

「埼玉大学 ガス爆発」で検索すると、その他記事も出てきます。

以 上

埼玉大学 工学部でガスボンベ爆発 実験のため調整の教員けが

2025年7月9日 15時16分 埼玉県

9日午前、さいたま市にある埼玉大学で、工学部で行われていた実験のため教員が屋外にあるガスボンベを調整していたところ、突然、爆発しました。教員1人がけがをしました。けがに別状はなく、警察が当時の状況や爆発の原因を調べています。



9日午前11時20分ごろ、さいたま市桜区にある埼玉大学で、教員から「実験中にボンベが爆発した」と消防に通報がありました。

大学によりますと、当時、キャンパス内にある工学部の建物で行われていた実験のため、教員の女性が屋外に設置されたガスボンベを調整していたところ、突然、爆発したということです。

この事故で女性教員がけがをして病院に運ばれましたが命に別状はなく、ほかに学生1人が爆風を受けて体調不良を訴えたものの、けがはありませんでした。

また、向かい側にある建物の窓のガラスが複数割れる被害も出ました。

警察がボンベの取り扱い状況などを確認し、爆発の原因を調べています。

現場は、JR京浜東北線の北浦和駅から西に4キロほど離れた場所です。

大学 “窓ガラスが爆風で割れた”

当時の状況について、埼玉大学広報課の[関係者]は「女性の教員が実験棟の2階から降りてきて鉄格子の中にあったガスボンベを調節していたところ、爆発が起きたと聞いています。近くの建物の窓ガラスが爆風で割れて周辺に飛び散りました」と話していました。

爆発場所の向かいの建物は1階の窓ガラスがほぼ全て割れる衝撃… 埼玉大学・大久保キャンパスで爆発 実習中に何が？

7/9(水) 17:26 配信  218 



TBS NEWS DIG 

きょう午前、さいたま市にある埼玉大学で爆発が起こり、女性教員1人がけがをしました。いったい何が起きたのでしょうか？

学生で賑わう大学のキャンパスが一時、騒然となりました。

記者

「この先の鉄格子の中のガスボンベが爆発したということです。消防と警察が検証作業を行っています」

爆発が起きたのは、さいたま市桜区の埼玉大学・大久保キャンパス。午前11時20分ごろ、「実習中にボンベが爆発して、右手を負傷した」と119番通報がありました。

この時間帯にキャンパスにいた学生は…

学生

「ドーンという雷みたいな鈍い音が聞こえて、結構大きかったので雷かなって。爆発があったんじゃないっていう話は2人でしてました。1秒まではいかないけど、ボンって音ではなくてボーンって響くような」

「爆発音ですね。破裂するような音だったかな」

「実験とかでも授業で使う場所なので、ちょっと怖いですね」

警察などによりますと、この爆発で30代の女性の助教1人が右腕や頭に軽傷を負いました。爆発があった場所の向かいの建物では、1階の窓ガラスがほぼ全て割れていて、衝撃の強さを物語っています。

実習中の事故ということですが、なにがあったのでしょうか。

埼玉大学 広報渉外課長

「左の建物2階の研究室で実習をしていて、ガスの使用があるんですけど、（ガスの）使用のため1階に教員が下りて外のガスボンベの調整をしていたときに、何らかの原因で引火して爆発した」

ボンベの中身は可燃性のアセチレンと酸素が混ざったガスで、引火性が極めて高いとされています。当時、実習をしていたのは、けがをした女性の助教と学生3人のあわせて4人ですが、学生たちにけがはありませんでした。

警察と消防は、さらに詳しい事故のいきさつを調べています。